

受付ID	団体名	主な活動地域	事業区分	事業名	事業期間始まり	事業期間終わり	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成金交付決定額
29	社会福祉法人大東市社会福祉協議会	大東市内全域	民間団体提案型	ICTを活用した「地域活動見える化」プロジェクト	2024/4/1	2025/3/31	大東市立総合福祉センター	民生委員児童委員、校区福祉委員長、お茶のみ休憩所運営委員	・委員同士で情報共有や情報交換を行うことにより活動を活発化。 ・各団体の拠点をオンラインでつなぎ、交流会や動画を配信すること。	2,143,000円
30	社会福祉法人貝塚市社会福祉協議会	貝塚市	民間団体提案型	民生委員・児童委員協議会へのICT導入事業	2024/4/1	2025/3/31	貝塚市民生委員・児童委員協議会事務局	民生委員	民生委員・児童委員はR4.12月に一斉改選があり、貝塚市では148名に対し、115名の委嘱で委嘱率は77.7%であり、担い手不足や負担軽減の取り組みは喫緊の課題となっている。本事業では、民生委員の負担軽減や担い手不足の解消に向け、タブレットを活用し、コミュニケーションツールなどを活用した委員間の情報共有を進めることで、民生委員同士の連携強化を図るとともに、ネットブラウザなどを活用した情報収集や情報処理により委員活動の効率化、負担軽減を目的とする。また、webソフト会議によるオンライン会議の開催や会議資料のペーパーレス化、欠席者に向けた会議映像のオンデマンド配信など、時間や場所に縛られず、働きながらでも円滑に活動可能な環境の整備に取り組む。	5,000,000円
31	社会福祉法人河内長野市社会福祉協議会	河内長野市内	民間団体提案型	ICTを活用した民生委員・児童委員の担い手確保事業	2024/4/1	2025/3/31	イズミヤゆいテラス河内長野	河内長野市民生委員児童委員協議会	河内長野市社会福祉協議会が事務局を担っている民児協では、R4.12月改選後定数178人に対して161人と充足率90.4%と低く、長らく担い手のない地域や退任後の引継ぎ者のない地域がある状況。民生委員、児童委員の確保は急務であり、そのためR4.11月から協力員制度を立ち上げ、負担軽減に取り組んでいる。働きながら民生委員・児童委員が活動できる環境づくりを進めるため、ICTによるアプローチをR4年度より地区委員長の間で着手している。更に発展させ、ペーパーレス化や研修や会議のオンライン化による効率化や負担軽減を目的に活動を進める民児協を後方支援する。	4,999,000円
32	社会福祉法人忠岡町社会福祉協議会	泉北郡忠岡町	民間団体提案型	民生委員児童委員ICT活用事業	2024/4/1	2025/3/31	忠岡町総合福祉センター	忠岡町民生委員児童委員協議会役員	民生委員活動の負担軽減、円滑な情報共有を目的として、民生委員児童委員協議会の役員にタブレット端末を貸与する。定例会や役員会のオンライン開催ができるような環境を整備していくための説明会や講習会を開催する。	1,025,000円
33	特定非営利活動法人アートコミュニティ	河内長野市	民間団体提案型	子どもの居場所そして高齢者の居場所	2024/4/1	2025/3/31	子どもの居場所 ヒーロー研究室	・高齢者(河内長野市三日月地区)・子ども・幼児～中学生・保護者(河内長野市市内と他市)	①子どもの居場所「ヒーロー研究室」 ②高齢者の居場所 子どもたちは高齢者を知り、高齢者は子どもを知る機会を作る。 ③手の離せない子どもを持つ母親を対象に月1回、定例で「MAMA×MAMAクラブ」開催する。 幼児は、サポーターがお世話をし、母親は、母親同士の情報交換や繋がりを築き、クラフト作りやおしゃべりを楽しみ、ひと時、心を開放する。 ④ 経済的にいろいろな体験が出来ない子どもたちに将来の夢を広げるきっかけを作る講座を開催。 ○子どもの無料自然体験講座「味噌づくり」山あいの畑で大豆の収穫を体験。その大豆で味噌を作る過程を知る。昔ながらの製法を知り、味わう。収穫した大豆を干したり、自然の観察や、畦の花や葉を使い花束や、リースを作りなどをし、自然に触れる機会を作る。 ○子どもの無料稽古事「はじめてのピアノ」・「はじめての書道」いわゆるお稽古事は、楽器の必要、道具代金・月謝など的高額な費用が発生する。設備の整っている当居場所で専門の講師を招き無料でレッスンを受けられるシステムを作る。	2,909,000円
34	社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	吹田市内全域	民間団体提案型	吹田市民生・児童委員協議会のICT化による担い手確保事業	2024/6/1	2025/3/31	吹田市社会福祉協議会	吹田市社会福祉協議会CSW、吹田市民生・児童委員	①民生・児童協議会の希望者にタブレット端末を配布し、連絡方法をICT化し、委員間や各ブロック担当CSWとの連携を強化。会議の資料をオンライン化、資料のデータ化を実施し、活動の効率化。 ②児童委員・民生委員協議会のホームページについて、認知度向上を目指しわかりやすい内容に拡充する。	5,000,000円

35	社会福祉法人枚方市 社会福祉協議会	枚方市全域	民間団体提案型	子ども・若者支援活動に関するコーディネート事業	2024/4/1	2025/3/31	ルフアルひらかた社協4階(上島御浜ビル)	枚方市内で次世代育成支援(子育て支援、不登校支援、若者支援など)に取り組む団体や個人 枚方市内で活動する学生ボランティアなど	「地縁型の子育て支援活動が不足している」「不登校児童生徒数の増加による子ども、若者の孤立化の危惧」という課題を解消するために、テーマ型活動団体による次世代育成(子育て支援、不登校支援、若者支援)の充実を図ることを目的としている。テーマ型に着目する理由はすでに枚方市内で活躍するテーマ型団体では、支援を受けた子どもが次の担い手となり、下の世代を支えているといった事例もあり、これらの取り組みを支えることで、将来の地域福祉の担い手の醸成にも大きく寄与すると考えるためである。具体的な手法としては、次世代育成支援多機能スペースと名付けた次世代育成の専用スペースを貸し出し、次世代育成コーディネーター(以下、コーディネーター)を配置する。コーディネーターは週3回程度常駐し、施設管理、来客対応、活動のサポートやコーディネート、SNS運用、イベント企画(年2回)などを行う。	1,500,000円
36	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府内及び関西圏	民間団体提案型	「インクルーシブボランティア」のコーディネーションモデル構築事業～誰もが参加できるボランティア活動の支援体制づくりに向けたコーディネーター研修プログラムの開発～	2024/4/1	2025/3/31	市民活動スクエア「CANVAS谷町」(社会福祉法人大阪ボランティア協会事務所)	受益者はボランティア活動や地域活動に参加したいという希望を持ちながら、人との関係がつくりにくく、孤立しがちであったり、さまざまな事情から社会参加に繋がりにくい人。対象者はボランティアセンターや市民活動センターのボランティアコーディネーターをはじめとする住民の支え合いをつなぐ専門職、福祉施設やNPO、公共機関におけるボランティア受け入れ担当者、主に地域での居場所づくりに取り組む地域組織のリーダー、障害がある当事者の自助グループなどの立ち上げを支援する関係機関のスタッフなど。	インクルーシブボランティアの環境づくりのボランティアコーディネーションについて正しく理解し、当事者に寄り添いながら参加支援を行える人材育成につなげることを目的として、ハンドブックを活用し①中間支援組織②ボランティア受け入れ団体、施設③地域の居場所づくりを行うボランティアリーダーを対象とした研修プログラムを開発したい。また、研修プログラムの検討と開発、試験的な実施と検証を繰り返すプロセスにおいて、現場のボランティアコーディネーターの参加を得て、研修内容のブラッシュアップを行い、より実践的にスキルとノウハウを伝えられる研修プログラムを考案する。同時にコーディネーター自身の心のケアにも着目し、アサーションやバウンダリー(境界線)などについても学べるようなプログラムのパッケージ化を図りたい。	5,000,000円
37	特定非営利活動法人ZUTTO	豊中市	民間団体提案型	制度のはざまで生きる女性たちのためのセーフティ・スペース運営と包括的相談事業	2024/4/1	2025/3/31	グッディ・ハウス	DVを受けている女性と子ども、住む場所のない女性、家に居場所のない少女等、様々な理由から既存の支援につながらることができず、泊まる場所の必要な女性と子ども	DV被害を受けている母子、困窮している母子、居場所のない若年女性等が、セーフティ・スペースに宿泊して、安心安全な環境で心身を回復し、人生の次のステップに踏み出す力をつけることを目的とする。行くところのない母子や若年女性等を対象に、避難が必要な親子や女性が一時的に滞在するための無料のセーフティ・スペースを開設し、運営する。また、課題を抱えた母子、若年女性、子どものための包括的な相談支援を行い、必要な場合、行政の支援窓口、他の支援団体や弁護士につなげる。課題を抱えた母や若年女性等が、食事会やワークショップに参加し、元気を回復し、次の一歩を踏み出すための機会を提供する。これらの取り組みに際して、スーパーバイザーによる定期的なサポートを受けながら、関係機関との連絡調整、ケース会議等を行って課題を整理し対応方法や役割分担を確認するとともに、活動報告書を取りまとめる。	4,600,000円
38	一般社団法人よりそい ネットおおさか	大阪府全域	民間団体提案型	福祉と連動する更生支援を通じた地域共生社会の実現	2024/4/1	2025/3/31	一般社団法人よりそい ネットおおさか	【対象者A】罪に問われた障がい者や高齢者、【対象者B】左記をとりまく関係者、【対象者C】支援学校や就労支援事業所に通所する知的障がい者	一つ目には、令和5年度に作成したツール『気持ちととのえMASSEシート、更生支援計画書+α(支援のための連絡シート)』を弁護士や福祉関係者ら【対象B】に周知し、活用してもらうことで、【対象A】に対してわかりやすく説明し、意思決定に導きやすくするサポート体制を強化することを目指す。さらに、活用することで見えてきた課題や問題を集約し、改良を重ねていきたい。特に、更生支援計画書+αにおいては、実刑になった場合、矯正施設内での活用状況を知るために、矯正関係者【対象B】にもアプローチし、効果検証する予定である。二つ目には、【対象A】らが、罪を犯さないための予防的支援体制を構築するために、【対象C】に対するアプローチを試みたい。そこで、知的障害者を教育する機関と協働し、障害特性に合わせたアプローチ方法を模索したい。三つ目には、社会全体の理解を広げるために、令和5年度に作成したマスコットキャラクターを利用し、当法人でのネットワーク活動はもちろんのこと、関係団体【対象B】に広く発信し、【対象A】をサポートする体制構築だけでなく、犯罪の予防的視点を持ったサポーターを増やすための取り組みを強化したい。その一環としても、府民、関係者を対象として事業報告含めたフォーラム(時期:1月下旬～2月、場所:大阪府社会福祉会館、講師:事業協力専門家など)の開催を計画している。	5,000,000円
39	認定NPO法人CLACK	大阪:新大阪・堺・京橋 東京:五反田	民間団体提案型	大阪府南部の困難を抱える高校生へのプログラミング学習支援	2024/4/1	2025/3/31	梅町公園集会所	生活困窮、ひとり親などの経済的困窮、不登校、いじめを受けた経験、外国ルーツ、発達障がいなどの困難を抱える大阪府南部の高校生	3ヶ月間のプログラミング学習支援教室を年3回実施し、合計45人(1期15人×3ターム)の高校生に提供する。教室は、平日はメタバース空間を活用したオンライン支援、土曜日は対面にて実施する。また、企業訪問や奨学金・生活費用・進学に関するキャリア支援や、講師の大学生や社会人エンジニアと接する機会も提供する。事前に実施する体験会では、プログラミングに限らず、ドローンやVR等、日常では触れにくいIT技術を体験する機会を提供する。(年間90人) また、高校生に伴走する大学生講師(各ターム5名)には、困難を抱えた高校生の人生が変わるきっかけをつくるための研修(プログラミング、コミュニケーション、問題解決能力、リーダーシップ等)を行う。 ※参加した高校生の経済的自立、精神的自立に将来的につながっていくかを社会的インパクト評価によって測定する。	5,000,000円
40	特定非営利活動法人Homedoor	大阪市北区及び大阪府下全域	民間団体提案型	若年層を中心とした生活困窮状態・ホームレス状態の人の生活相談及び就労相談事業	2024/4/1	2025/3/31	アンドセンター、アンドベース、大阪市全域(繁華街等)	ネットカフェや安宿等を含む、広義のホームレス状態にある人、近いうちに住居喪失をする可能性がある人や、事情により家に帰れない人、上記の内、特に若年層で就労に課題を持っている人	“誰もが何度でもやりなおせる社会”を目指し、広義のホームレス状態にある人が、その人の希望する形でホームレス状態から脱却できるように、ワンストップ型の支援を展開する。まず、アウトリーチとして夜回りでの直接訪問やウェブ広告、ネットカフェやコンビニの店舗のポスター掲載等により、潜在的に困窮しているホームレス状態の人へ広くアプローチする。これにより、Homedoorに相談に来られた方に、専門資格を有する相談員による生活相談を実施。相談後、すぐに入居いただける個室型無料宿泊施設「アンドセンター」を独自に準備し、2週間滞在いただきながら生活再建のための就労支援・生活支援を行う。より長期での支援が必要な方には、伴走型支援シェルター「アンドベース」に宿泊してもらいながら、就労支援員による就労相談の実施や心理的ケアを行うカウンセリングを通じて、自分の適性の理解や希望するキャリアプランを描けるようになってもらう。生活再建後、アフターフォローとして定期面談を実施し、再貧困化を予防するために途切れのない一貫した支援を提供する。助成金申請対象は、生活相談及び就労相談事業とし、法人が実施する他の事業(個室型無料宿泊提供事業、伴走型支援シェルター事業など)と連携して支援を実施する。	5,000,000円
41	特定非営利活動法人NPOかんなびの丘	堺市・富田林市及び大阪府全域	民間団体提案型	金銭管理サービス適正化に係る調査研究事業	2024/4/1	2025/3/31	NPOかんなびの丘	施設管理責任者、自治体関係者	施設における金銭管理サービスが適正に提供される体制を構築することを目的に、その基盤となる実態の把握を行います。また、金銭管理サービスに対する理解促進のための啓発活動を行います。 I. 実行委員会の設置 ・オブザーバーとして大阪府及び府内自治体の職員の参画を依頼する予定。・実行委員会形式とすることで、多様な知見が得られるとともに計画の変更や修正にも臨機応変に対応できると考えています II. 調査事業 ①アンケート調査の実施 ・自治体向け・社協向け・施設向け ②ヒアリング調査の実施・先進地ヒアリング・取組みヒアリング・現地訪問は III. 啓発事業 ①報告会の開催 ・報告書の作成・報告書の配布:アンケート調査対象団体に報告書(概要版)の配布・報告会の開催 ②イベントへの出展 各種イベントに出展して啓発活動を行う	3,540,000円